



KOBE BUSSAN CO., LTD.



平成 27 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 神 戸 物 産 (コード番号：3038 東証第 1 部)
代 表 者 名	代表取締役社長 沼田 博和
問 合 せ 先	取締役兼 経営企画部門 部門長 矢合 康浩 TEL 079-496-6610

### 関東最大級の養鶏処理場と養鶏場の譲受けに関するお知らせ

当社子会社である株式会社朝びき若鶏(以下、朝びき若鶏)が養鶏の増産を目的として三井物産株式会社(以下、三井物産)の子会社であるプライフーズ株式会社(以下、プライフーズ)より養鶏場を譲受けましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 事業の譲受けの理由

昨今の「中国産の使用期限切れ鶏肉問題」などを背景に、国産鶏肉の需要が拡大いたしました。このため、平成 23 年 11 月に設立いたしました当社の 100%子会社である岡山県の株式会社グリーンポーターだけでは業務スーパーの店舗に対しての供給は難しいと判断し、平成 27 年 1 月 28 日付で開示しました「当社子会社による事業の譲受けに関するお知らせ」のとおり、伊藤忠飼料株式会社(以下、伊藤忠飼料)の 100%子会社である、株式会社但馬・高崎事業所(以下、但馬)との間で、関東用の国産鶏肉の供給基地として新たに関東最大級の養鶏場及び処理場である但馬を伊藤忠飼料より譲受けることで合意いたしました。

また、増産を目的として三井物産の子会社であるプライフーズより飼養羽数 26 万羽の養鶏場である第一ファームを平成 27 年 3 月 31 日付で譲受けましたのでお知らせいたします。

なお、食肉の中で割安な鶏肉を選ぶ消費者の傾向が高まっており、特に国産鶏肉が必要とされておりますので、平成 29 年 5 月までに群馬県と岡山県に、新たに年間飼養羽数 100 万羽の鶏舎を新設する予定です。

#### <安全・安心の為のお約束>

1. ひな鶏・飼料・自社の養鶏場・自社の食肉処理場・物流等を日本で初めて自社内で一元管理し、完全な安全・安心の鶏肉をお客様に提供させていただきます。
2. 通常、店舗内で行われるチルド製品のリパックを、菌数の増殖・異物混入等の防止の為に、衛生的な食肉処理場内で個食単位での真空パックにしておりますので、小さなお子様や高齢者の方々にも安心してお召し上がり頂けます。
3. 食肉処理場とウインナー工場を同じ敷地内に造ることにより、日本で初めて、当日食肉処理された鶏肉を多く使い、新鮮なウインナーを自社生産しております。

2. 今後の見通し

本件による当社の平成 27 年 10 月期の連結業績に与える影響は軽微なものと予想しております。

以 上